

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
公告の方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行なう。

第81期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願い致します。



橋本総業ホールディングス株式会社

●オフィシャルURL

<http://www.hat-hd.co.jp>

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町9-9

Tel.03-3665-9000代表



橋本総業ホールディングス株式会社

証券コード:7570 <http://www.hat-hd.co.jp>

ごあいさつ

拝啓 日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第81期中間決算を行ないましたので、そのご報告及び基本戦略につきましてご説明申し上げます。

当中間期におけるわが国の建設業界は、民間住宅投資は、貸家の着工減の影響はあるものの底堅く推移致しました。民間非住宅投資も、足元の設備投資の持ち直しから、事務所・工場を中心に拡大が今後も予想されております。また、公共投資は、前年度比プラスが予想され、業界全体として増加傾向の中で推移致しました。

このような環境下、当社グループは、「環境・エネルギー」「中古住宅流通・リフォーム」「健康・快適」「安全・安心」「地域活性化」「グローバル化」「IT化」＝「7つの分野」を中心に今後とも積極的に取り組んでまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも

一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。
敬具



代表取締役社長
橋本 政昭

企業理念

環境・設備商品の「流通」と「サービス」を通じて、快適な暮らしを実現する

当社グループは「環境・設備商品の流通とサービス」を通じて、社会に貢献できる企業を今後ともめざしてまいります。そのために以下の「3つのベスト」を推進し、当社グループに関心を持って頂けるすべての方々に「ありがとう」といって頂ける企業をめざしてまいります。

■ 設備のベストコーディネーター
～施主さま、工事業者さまに、
最適な設備をご提案

■ 流通としてベストパートナー
～得意先さま、仕入先さま、当社グループで
3位1体のベストなしくみの構築

■ 会社としてベストカンパニー
～株主さま、社員、社会から
ベストといわれる会社作り

当四半期の主なポイント

売上高

持家を中心とした民間住宅投資が底堅く推移し、事務所・工場を中心とした民間非住宅投資が好調に推移したことを背景に、橋本総業(株)、大明工機(株)を中心に売上高は、前年同期比3.8%増の603億円となりました。

603億円
前年同期比
+3.8%

営業利益

売上総利益が前年同期比8.0%増加した一方、販売費及び一般管理費が同4.2%にとどまり、前年同期比38.6%増の879百万円となりました。

879百万円
前年同期比
+38.6%

経常利益

営業利益が増加したことに加え、営業外収支が前年同期比13.6%増となり、経常利益は前年同期比34.7%増の1,012百万円となりました。

1,012百万円
前年同期比
+34.7%

親会社株主に帰属する四半期純利益

投資有価証券売却益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比46.8%増の709百万円となりました。

709百万円
前年同期比
+46.8%

主なセグメント別営業の概況

管材類

土木関連の受注が減少した一方で、建築設備系のプレハブ加工管等の需要の増加と、プラント系のバルブ類の物件増加、住宅関連商材が堅調に推移し前年同期比7.2%増の196億円となりました。

196億円
前年同期比
+7.2%

衛生陶器・金具類

リフォーム需要はやや低迷しましたが、一体型温水洗浄便座の新商品が発売され新築需要に対応、また非住宅物件のリニューアル物件の受注も増加し、前年同期比3%増の176億円となりました。

176億円
前年同期比
+3.0%

住宅設備機器類

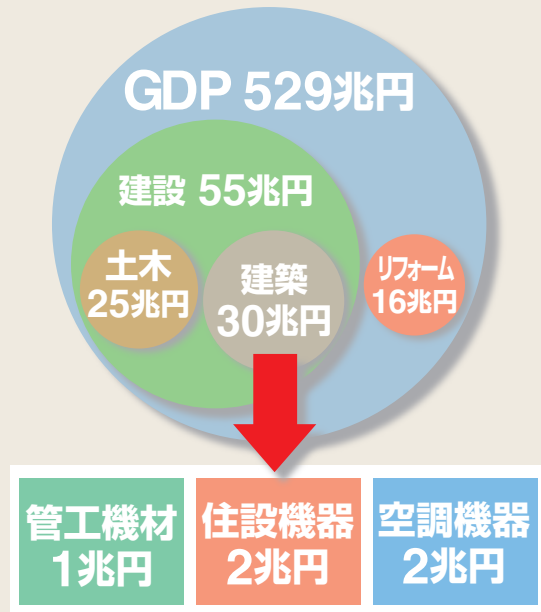
システムキッチンなどの施工付商品はやや低迷した一方で、給湯器の高効率タイプの需要と非住宅物件の業務用給湯器が増加し前年同期比3.1%増の99億円となりました。

99億円
前年同期比
+3.1%

空調機器・ポンプ

エアコン等の冷暖房機器は前年並み。住宅用換気扇はU R、公社、都住などの集合住宅物件の受注が減少し、ポンプ分野では集合住宅向け増圧ポンプの取替需要が好調でしたが、前年同期比0.5%減の123億円となりました。

123億円
前年同期比
△0.5%



今期の取組み

- ①お取引先第一主義の徹底
→早い、安い、確実を追求し、CS度向上に取組む
- ②成長への取組み
→お取引先と一緒にあって、新規増分に取組む
- ③進化への取組み
→しくみ、ひと、しかけ作りで、生産性向上に取組む

10の基本取組み

- ①CSの向上
- ②予算の達成
- ③成長への取組み
- ④進化への取組み
- ⑤みらい活動の充実
- ⑥みらい商材
- ⑦制度対応
- ⑧機能強化
- ⑨人材育成
- ⑩リスク対応

1.3つのフルの追求 成長への 取組み

- Strategy 1 **フルカバー**
(どこでも) 県別営業体制で全国需要に対応
- Strategy 2 **フルライン**
(何でも)お客さまが望む商品をワンストップ対応
- Strategy 3 **フル機能**
(どんなことでも)基本7機能、工程9機能、ソリューション機能の充実



2.みらい活動 業界最大最良の ネットワークへの取組み

- Strategy 1 **みらい会**
(みんなの会に) 4位1体で県別(支店別)に展開
- Strategy 2 **みらい市**
(みんなの市に) 会員相互の販促の場に
- Strategy 3 **みらいサービス**
(みんなのサービスに)販促、サポート、教育、IT、分科会、イベント、物流、体制



3.進化活動 生産性向上 への取組み

- Strategy 1 **しくみ作り**
(みらいプラン)商流(一貫化)、物流(共同化)、情報(共有化)
- Strategy 2 **ひと作り**
(みらいアカデミー)業界のプロの人材育成(資格、基本、商材)
- Strategy 3 **しかけ作り**
(みらいステージ)ITの活用、5S、見える化、チーム活動



社会貢献活動(CSR) 業界、教育、 スポーツ、メディアへの取組み

- Strategy 1 **業界への取組み**
管工事業者、管工機材商組合、関連団体との取組み
- Strategy 2 **教育への取組み**
給排水設備研究会、スカラシップ 懸賞論文
- Strategy 3 **スポーツ、メディアへの取組み**
スポーツ(テニス)への取組み、メディアへの取組み



第2四半期連結貸借対照表（要旨）

科目	期別	(単位:百万円)	
		当四半期末 (平成29年9月30日現在)	前期末 (平成29年9月31日現在)
《資産の部》			
流動資産		39,602	35,578
現金及び預金		2,937	2,292
受取手形及び売掛金		23,164	21,809
電子記録債権		4,472	2,076
商品		6,570	6,027
その他		2,481	3,386
貸倒引当金		△ 23	△ 13
固定資産		21,270	20,040
有形固定資産		10,084	9,877
無形固定資産		308	251
投資その他の資産		10,877	9,911
投資有価証券		6,264	5,576
長期貸付金		938	584
その他		3,980	4,038
貸倒引当金		△ 306	△ 287
資産合計		60,872	55,619

科目	期別	(単位:百万円)	
		当四半期末 (平成29年9月30日現在)	前期末 (平成29年9月31日現在)
《負債の部》			
流動負債		38,197	33,642
支払手形及び買掛金		16,597	17,088
電子記録債務		9,968	9,008
短期借入金		8,800	4,000
1年内返済予定の長期借入金		874	1,066
その他		1,956	2,479
固定負債		4,272	4,401
長期借入金		980	1,241
その他		3,292	3,160
負債合計		42,469	38,044
《純資産の部》			
株主資本		16,825	16,272
資本金		542	542
資本剰余金		443	440
利益剰余金		16,199	15,653
自己株式		△ 359	△ 364
その他の包括利益累計額		1,544	1,275
その他有価証券評価差額金		1,390	1,134
土地再評価差額金		315	315
退職給付に係る調整累計額		△ 161	△ 174
新株予約権		32	27
純資産合計		18,402	17,575
負債及び純資産合計		60,872	55,619

第2四半期連結損益計算書（要旨）

科目	期別	(単位:百万円)	
		当四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高		60,313	58,083
売上原価		54,074	52,306
売上総利益		6,238	5,776
販売費及び一般管理費		5,358	5,142
営業利益		879	634
営業外収益		459	439
営業外費用		326	322
経常利益		1,012	751
特別利益		81	36
特別損失		11	35
税金等調整前四半期純利益		1,082	752
法人税等		373	269
四半期純利益		709	483
親会社株主に帰属する四半期純利益		709	483

第2四半期連結損益計算書の要点

売上高

前第2四半期連結累計期間比2,229百万円増加しました。

営業利益、経常利益

前第2四半期連結累計期間比で売上総利益が461百万円増加(+8.0%)した一方で、販売費及び一般管理費は216百万円(+4.2%)にとどまり、営業利益は244百万円、経常利益は260百万円それぞれ増加しました。

四半期純利益

投資有価証券売却益を特別利益に計上したこと等により、四半期純利益は226百万円増加しました。

第2四半期連結貸借対照表の要点

資産の部

資産合計は前期末に比べて、5,253百万円増加(+9.4%)し、60,872百万円となりました。これは主に、電子記録債権が増加したこと等によるものです。

負債の部

負債合計は前期末に比べて、4,425百万円増加(+11.6%)し、42,469百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等によるものです。

純資産の部

純資産合計は前期末に比べて、827百万円増加(+4.7%)し、18,402百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	期別	
	当四半期 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年9月30日)	前四半期 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,127	△4,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 512	△ 365
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,922	4,874
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	282	△ 82
現金及び現金同等物の期首残高	2,251	1,804
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	344	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,878	1,721

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要点

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ1,156百万円増加し、2,878百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は3,127百万円となりました。これは主に、売上債権の増加等によるものです。

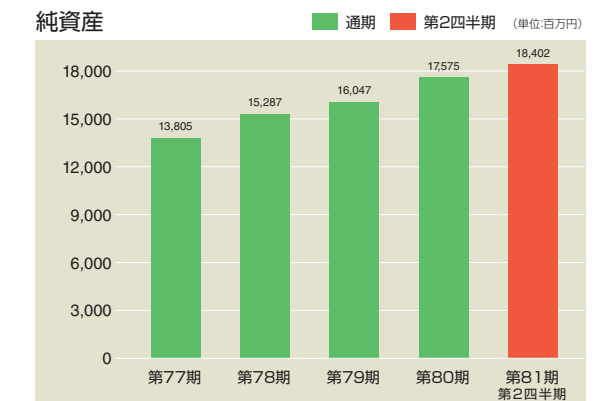
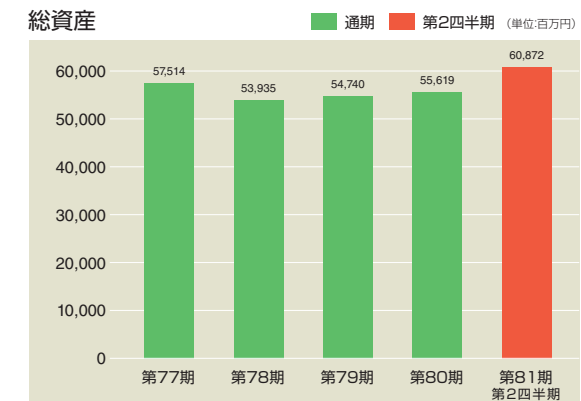
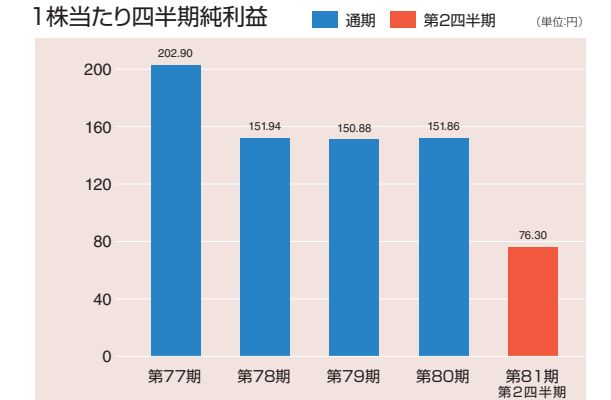
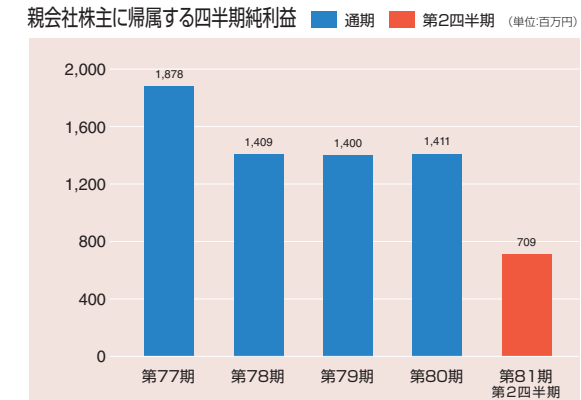
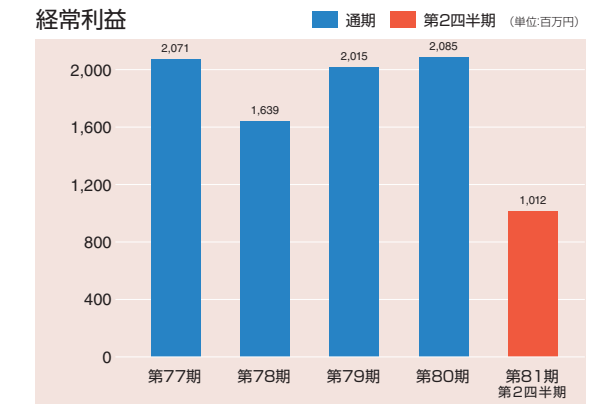
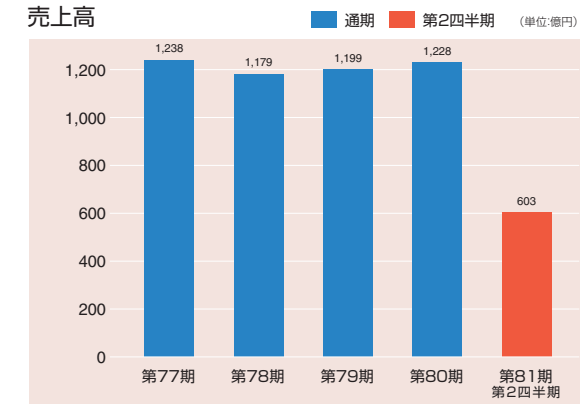
(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は512百万円となりました。これは主に、長期貸付けによる支出等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は3,922百万円となりました。これは主に、資金調達手段を変更したことによる短期借入金の増加等によるものです。

財務ハイライト



株式の状況 (平成29年9月30日現在)

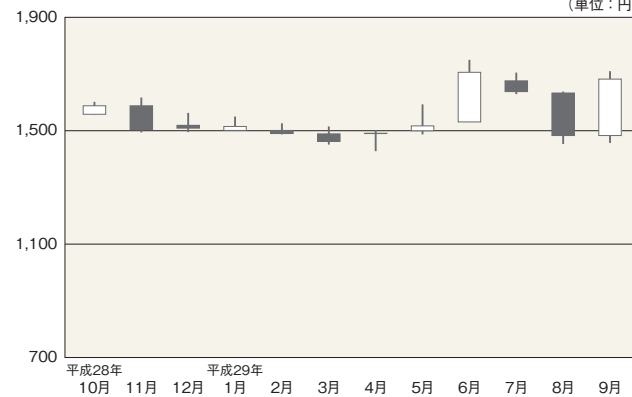
1 発行可能株式総数	35,000,000株
2 発行済株式の総数	9,678,660株
3 株主総数	2,576名

大株主の状況

大株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
有限会社ハット企画	2,610千株	28.06%
橋本総業従業員持株会	629	6.77
橋本政昭	525	5.65
橋本総業取引先持株会	459	4.94
株式会社三井住友銀行	247	2.66
日本生命保険相互会社	220	2.37
橋本総業得意先持株会	203	2.19
阪田貞一	113	1.22
TOTO株式会社	110	1.18
住友生命保険相互会社	99	1.06
第一生命保険株式会社	99	1.06

(注)1. 上記のほか、自己株式が378千株ありますが、上記大株主より除いております。なお、自己株式数には平成29年9月30日現在、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する66千株を含めております。
2. 持株比率は自己株式(378千株)を控除して計算しております。

株価の推移 (平成28年10月~平成29年9月)



会社の概況 (平成29年9月30日現在)

商号	橋本総業ホールディングス株式会社
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町9-9 Tel.03-3665-9000 (代)
設立	昭和13年3月15日
資本金	542百万円
役員	代表取締役社長 橋本 政昭 代表取締役副社長 阪田 貞一 取締役専務執行役員 鈴木 了 取締役常務執行役員 田所 浩行 取締役常務執行役員 伊藤 光太郎 取締役常務執行役員 佐山 秀一 取締役常務執行役員 倉本 順一郎 社外取締役 宇野 輝 社外取締役 松永 和夫 社外取締役 相京 重信 監査役(常勤) 橋本 和夫 監査役 森口 昭治 監査役 中村 中 監査役 吾妻 裕
事業内容	・傘下グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務 ・不動産の賃貸、管理
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	7570

	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭公開 (H9/11) ・東証第二部 (H26/2) ・東証第一部 (H26/9) ・ホールディングス化(H28/4) <p>さらなる成長、進化を目指します。</p>	<p>(株)大和が当社グループに加わり、橋本総業(株)、大明工機(株)、若松物産(株)と4社で、さらなるグループ力の強化を目指します。</p>
	<p>全国管工機材商業連合会と全国管工事業協同組合連合会との間で災害協定を結びました。さらなる関係強化に努めます。</p>	<p>一般社団法人ベターライフリフォーム協議会(BLR)とリフォーム強化の取組みを行なっています。</p>
	<p>H29/5 全国合同みらい会総会をシェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルにて行ないました。</p>	<p>みらい市を全国で行ないました。 5/12・13 名古屋 5/19・20 東京 5/25 北海道 6/10 仙台 7/21 沖縄 11/7 福岡 11/9 岡山</p>
	<p>みらいアカデミーとあわせ、みらいエコRFセンターをリニューアルしました。業界プロの人材育成を目指しています。</p>	<p>自動弁の組立、システム配管加工、金属管の加工等を充実させています。</p>
	<p>「橋本映画」をホームページ上で公開しています。 「管材屋の唄」「十勝の唄」「職人の唄」「続・十勝の唄」「キッチン神様」「プロゴルファーへの途」「銀行マンの唄」「のりとなかまど」「豊職人の唄」「うつつみの色」「衛陶職人の唄」</p>	<p>H29/10 全日本実業団テニス大会で当社所属の男子チームが優勝しました。</p>